

新しい特産品「あけの金時」のブランド化への取り組み

「総合技術普及センター」



●あけの金時



●芋なっとう

山梨県では新たな担い手確保の一環として企業の農業参入や経営の法人化を推進しており、当センターにおいては法人を対象に安定生産や販路開拓等に向けた支援を行っています。その中で、北杜市明野地域において、農業生産法人「株式会社あけの」が平成21年度に株式会社を設立して、4haの農地を借り受け、サツマイモの専作経営を開始し、今年で3年目を迎えております。

今年はマルチによる前進化により昨年度より1週間程度早く8月末からサツマイモの収穫を始めており、乗用型の収穫機を使って、その後専用貯蔵庫で追熟し、9月中旬～3月いっぱいの出荷を予定しています。当センターでは、通常の定植方法である手作業の直立挿しにかかる労働時間の削減に向け、定植機を用いた省力栽培体系の実証や早期出荷へ向けた資材の検討、学校給食や企業の収穫体験受入の取り組みなどを支援しており、当地域での新しい特産品である「あけの金時」のブランド化に向けさらなる品質向上や規模拡大が期待されます。



●乗用収穫機による収穫



●あけの金時タルト

New BRAND AKENO-KINTOKI

●ご案内●

日本一の水と太陽のふるさと北杜市！日照時間日本一の明野町で育まれた、ふるさとの味。

あけの金時・掘り取り体験

◆掘り取り期間：9月1日～10月20日
 ◆お持ち帰り料金：1キロ・500円（宅配も承ります）
 ★長靴・手袋など、汚れても良い服装でお出かけ下さい。

〒408-0205 山梨県北杜市明野町浅尾新田968

(株)あけの TEL・FAX.0551-20-2090






家畜ふんを原料とする特殊肥料及び夏作飼料作物の放射性物質への対応について

山梨県産牛ふん堆肥の放射性セシウム検査は不要となりました。



●稲の収穫作業



●堆肥舎

原子力発電所の事故にともなう放射性物質降下の影響を踏まえ、家畜ふんを原料とする特殊肥料や夏作飼料作物（稲わら、発酵粗飼料用の稲、イネ科・マメ科飼料作物等）の取扱いについて、農林水産省から以下のとおり示されました。

まず、家畜ふんを原料とする特殊肥料については、本県は国が示す検査対象地域に含まれていないため、山梨県産牛ふん堆肥の放射性セシウム検査は不要となりました。豚ふんや鶏ふん堆肥も、適切な飼養管理が行われている限り、検査は不要です。

また、原発事故後に作付された夏作飼料作物は、本県では稲わらのみが放射性セシウムの調査対象となったため、調査が完了し安全性が確保されるまでは、今年度産の稲わら給与の自粛をお願いします。

●詳しくは、畜産技術普及センターまたは家畜保健衛生所にお問い合わせください。

「畜産技術普及センター」